HP care for your life

介護

市民のみなさんからの意見を募集します。

みんなで考えよう！丹波市の福祉と介護

「丹波市地域包括支援センター及び指定介護予防支援に関する基準等を定める条例」に関する意見を募集します。

平成25年6月に「第3次一括法」が公布されたことにともない、「地域包括支援センター」及び「介護予防支援」に関する基準を地方自治体が定めることとなりました。

それに従い、市では、現在、「丹波市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例（案）」及び「丹波市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例（案）」の制定に向けて準備を進めています。この条例（案）について、みなさんのご意見、ご提案をお聞かせください。

「丹波市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画」に関する意見を募集します。

市では、現在、平成27年度から29年度までを期間とする「丹波市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画」の策定作業を進めています。

この計画は、高齢者の健康づくりや生きがいづくり、今後の介護保険サービスや高齢者福祉サービスの基本方向と取り組むべき内容をまとめた計画です。今回、計画（案）を作成しましたので、次のとおり意見募集（パブリックコメント）を行います。みなさんのご意見、ご提案をお聞かせください。

【共通事項】
■募集期間 / 1月19日（月）まで
■閲覧場所 / 市役所各窓口、市ホームページで条例（案）および計画（案）の概要版が閲覧できます。
■意見の提出 / 所定の様式に記入のうえ、郵便、FAX、電子メールまたは市役所各窓口の意見箱をご利用ください。
問 介護保険課（春日庁舎内） ●条例（案）に関すること・・・介護予防係 ☎74‐0368
●計画（案）に関すること・・・介護保険係 ☎74‐1049

あなたに夢を。宝くじ 街に元気を。 クーちゃん

宝くじ社会貢献広報事業

コミュニティ助成事業（宝くじの助成金）で自治協議会の備品を整備しました！

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に、コミュニティ活動備品の整備に対して助成を行うコミュニティ助成事業を実施しています。

今回、柏原自治協議会では、この事業を活用して、会議用イスやテントなどを購入し、地域のコミュニティ活動のより一層の充実・強化が図られています。

柏原自治協議会がコミュニティ助成事業を活用して、購入した備品。会議用イス、音響セット、ファンヒーター、展示ボード、送（扇）風機、かんたんテント、プレハブ倉庫などを整備しました

市長からのメッセージ

[こちら市長執務室]

土砂災害ワーキンググループの初会合に出席しました

12月4日（木）に、内閣府の防災会議が設置する「総合的な土砂災害対策検討ワーキンググループ」の第1回目の会合に出席しました。今後、丹波市の教訓も踏まえ、国と協力しながら土砂災害に対する人命保護など、総合的な防災対策を検討して参ります。

[テーマ] 2014年を振り返って

本年、丹波市は市制10周年を迎えました。この1年を振り返りますと、8月16日に本市を襲いました豪雨災害が最も大きな出来事でした。山津波ともいえる大量の土砂が家屋をはじめ、河川や農地、道路を壊し、1名の尊い命を奪う結果となりました。現在、復興プランを作成しており、今後、数年をかけて旧に復するだけでなく農をはじめとする地域資源を生かし、また、災害を契機に生まれた新たな人的交流を今後も継続させることで、災害が起こる前以上に豊かで安全なまちを築けるよう全力を尽くす所存です。

また、本年度は、平成27年度を初年度とする市のめざすべき将来の姿とその実現に資する政策をまとめ、市民参画と協働のまちづくりや行財政運営の指針となる第2次丹波市総合計画を策定する仕上げの年でした。「人と人、人と自然の創造的交流都市」をテーマに掲げ、「第二次総合計画」をもとに来年度から10年間のまちづくりに取り組んで参ります。

次に、地域医療においては、柏原赤十字病院と県立柏原病院の常勤医師の不足による市外への緊急搬送が4割を越える状況となり、診療機能の低下や経営の悪化が深刻な問題となっています。両病院の統合再編を行うことが最も望ましいとの提言を受け、来年度から新病院の設計に着手し、平成30年度には開院する予定です。また、来年度から丹波市が運営を引き継ぐ看護専門学校についても新病院に併設させ、その他にも、これまで両病院が担っていた機能を維持することができるよう、県との間で調整をしながら検討を進めることとしています。安心な暮らしに不可欠な医療の充実を図ることで、市民の皆様に安心を届けたいと考えています。

その他、平成22年にリニューアルオープンしました「ちーたんの館」の来館者が10万人を、また、平成23年に運行を開始しました「デマンド予約（型）乗合タクシー」の利用者が10万人を達成したり、記憶に新しい「大相撲丹波場所」を開催し、被災された皆様に元気を与えたりすることができました。

しかし、一方で、水道部、消防本部職員による不正事務処理問題におきましては、市民の皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけする結果となりました。11月末には、関係職員の懲戒処分並びに分限処分を行い、同時に、市長としての監督責任を明らかにしたところです。今後、再発防止に全力で取り組んで参ります。

最後に、春日町野上野に建設中の「丹波市クリーンセンター」が間もなく完成し、来年4月1日から稼働を開始します。完成までに10年近くを費やしましたが、関係自治会の深いご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

以上、この1年間、市民の皆様には、多くのご心配をおかけしましたが、多大なご支援ご協力を頂きましたこと、心から感謝申し上げますとともに、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えいただきますようご祈念申し上げ、年末のご挨拶といたします。